



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月6日

上場会社名 日本写真印刷株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 7915 URL <http://www.nissha.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木順也
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)高橋 勝 TEL (075)811-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	73,642	11.6	12,399	△0.1	13,182	1.3	8,737	10.1
19年3月期第3四半期	65,966	8.5	12,410	11.2	13,012	9.7	7,938	17.4
19年3月期	88,735		15,289		16,313		9,503	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	202	04	—	—
19年3月期第3四半期	183	56	—	—
19年3月期	219	74	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	141,617		86,437		61.0	1,998	81	
19年3月期第3四半期	122,619		70,926		57.8	1,640	06	
19年3月期	126,762		73,757		58.2	1,705	46	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	7,056		△2,743		△1,482		16,295	
19年3月期第3四半期	2,457		△6,171		△313		11,480	
19年3月期	7,589		△8,884		△806		13,489	

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	98,000	10.4	15,000	△1.9	15,300	△6.2	9,600	1.0	222	00

3. 平成20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	94,000	12.7	10,400	△12.1	11,300	△13.2	7,100	△5.6	164	19

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 有

[新規1社(社名 Eimo Technologies, Inc.) 除外 一社(社名 —)]

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成しておりますので、今後の不確定な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における当社をとりまく市場環境は、海外需要の拡大により事業のグローバル化がさらに進展し、市場トレンドの変化や顧客ニーズの多様化が加速した結果、多品種、高機能、小ロット、短納期化の傾向が一層顕著となりました。また、主要需要地域である新興市場の存在感が高まっており、販売単価の低下が進み、価格競争が激化しました。

こうした厳しい経営環境の下、当社グループでは、市場のニーズに的確に応えるために顧客満足度の向上を最優先の経営戦略に掲げ、「Trend Meets Technology」のブランドステートメントのもと、独自技術の優位性を最大限に発揮したソリューションの提供に努めるとともに、グローバル・ネットワークを構築しながら、スピード重視のタイムリーな戦略を積極的に実践しました。

このような経営努力の結果、当第3四半期の連結業績は売上高では736億42百万円（前年同期比11.6%増）となり、営業利益は123億99百万円（同0.1%減）、経常利益は131億82百万円（同1.3%増）、純利益は87億37百万円（同10.1%増）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

産業資材部門

産業資材部門では、価格競争が厳しさを増すなか、表面加飾の需要拡大に向けて市場開拓を積極的に推進した結果、ノート型パソコンが堅調に推移し、携帯電話、自動車向けも伸張しました。また12月には、自動車分野の拡大を主目的に、アメリカでIMD成形会社を買収し、今後の事業ポートフォリオの充実を目指すこととしました（当社の米国子会社Nissha USA, Inc.が、新たに子会社Eimo Technologies, Inc.を設立し、買収の主体としました）。

電子部門

電子部門では、タッチ入力デバイスの増産体制を整備し、市場ニーズに的確に対応することで、携帯電話向けを中心に堅調に推移しました。

印刷情報部門

印刷情報部門では、高品質とニーズ先取りの提案型営業などが奏功し、出版印刷、商業印刷ともに計画を達成することができました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は1,416億17百万円となり、前期末に比べ148億55百万円増加しました。主な要因は、売上高の増加等による現金及び預金の増28億35百万円、設備投資による有形固定資産の増38億89百万円、時価評価による投資有価証券の増37億62百万円等によるものであります。

当第3四半期末の負債合計は551億79百万円となり、前期末に比べ21億74百万円増加しました。主な要因は、時価評価に伴う繰延税金負債の増27億19百万円等によるものであります。

当第3四半期末の純資産は864億37百万円となり、前期末に比べ126億80百万円増加しました。主な要因は、利益計上による利益剰余金の増68億78百万円、時価評価によるその他有価証券評価差額金の増58億39百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末（平成19年3月31日現在）に比べ28億6百万円増加し、当第3四半期末（平成19年12月31日現在）には162億95百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は70億56百万円となり、前第3四半期に比べ45億99百万円増加しました。これは主に当第3四半期に税金等調整前四半期（当期）純利益を148億3百万円計上する一方、法人税等の支払額として61億68百万円を計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は27億43百万円となりました。これは主に当第3四半期に有形固定資産等の取得として79億20百万円を支出する一方、有価証券の償還により38億6百万円の収入を計上したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は14億82百万円となりました。これは主に配当金の支払額として18億57百万円を支出する一方、長期借入金による収入10億2百万円を計上したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期は、通常、季節的なサイクルとして需要が鈍化する傾向があることから、第3四半期と比較すると、売上高、利益とも減少することが予想されます。また、為替レートや原油価格の推移が業績に与える影響については引き続き注意が必要です。

一方、来年度以降も視野に入れた全般的な事業環境としては、当社の主力事業である産業資材と電子の市場拡大には力強さがあると判断しており、これにタイムリーに応えるために昨年度以降、積極的に生産能力増強投資を行っています。

こうした状況のなか、通期業績予想につきましては第3四半期の業況に基づき見直しを行いました。連結業績は、売上高では980億円（前期比10.4%増）となり、営業利益は150億円（同1.9%減）、経常利益は153億円（同6.2%減）、純利益は96億円（同1.0%増）となる見通しです。また、個別業績は、売上高では940億円（前期比12.7%増）となり、営業利益は104億円（同12.1%減）、経常利益は113億円（同13.2%減）、純利益は71億円（同5.6%減）となる見通しです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規1社：Eimo Technologies, Inc.

海外における事業買収のため、平成19年12月26日に当社の100%子会社Nissha USA, Inc.の出資により新規子会社を設立いたしました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産（建物（建物付属設備を除く）を除く）について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しました。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ64百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	20,456	23,591	3,135		20,756
2. 受取手形及び売掛金	24,398	25,970	1,571		24,599
3. 有価証券	3,908	4,603	695		5,009
4. たな卸資産	12,377	13,800	1,422		11,733
5. 繰延税金資産	2,485	915	△1,569		2,103
6. その他	1,681	1,682	1		1,960
貸倒引当金	△ 2,887	△ 230	2,657		△1,745
流動資産合計	62,419	70,334	7,914	12.7	64,417
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	9,711	12,519	2,807		12,842
(2) 機械装置及び運搬具	9,533	10,879	1,345		11,378
(3) 土地	5,498	6,720	1,221		5,581
(4) その他	5,214	5,803	588		2,232
有形固定資産合計	29,959	35,923	5,963	19.9	32,034
2. 無形固定資産	247	777	530	214.6	296
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	25,431	29,269	3,838		25,507
(2) 繰延税金資産	1,234	1,042	△192		671
(3) その他	3,614	4,662	1,048		4,230
貸倒引当金	△ 287	△ 391	△104		△393
投資その他の資産合計	29,992	34,582	4,589	15.3	30,014
固定資産合計	60,199	71,282	11,083	18.4	62,345
資産合計	122,619	141,617	18,998	15.5	126,762

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	16,957	17,286	329		17,188
2. 短期借入金	2,465	3,167	702		2,762
3. 一年以内償還 予定の社債	—	3,000	3,000		—
4. 未払費用	954	1,100	145		1,115
5. 未払法人税等	1,704	1,919	215		3,219
6. 賞与引当金	924	821	△102		1,463
7. 設備関係支払手形	5,134	3,407	△1,727		4,440
8. その他	3,150	4,260	1,110		2,367
流動負債合計	31,292	34,964	3,672	11.7	32,556
II 固定負債					
1. 社債	10,000	7,000	△3,000		10,000
2. 繰延税金負債	2,594	5,568	2,974		2,849
3. 退職給付引当金	6,487	6,479	△7		6,368
4. 役員退職慰労引当金	959	—	△959		969
5. その他	358	1,167	808		261
固定負債合計	20,400	20,215	△185	△0.9	20,449
負債合計	51,692	55,179	3,487	6.7	53,005
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	5,684	5,684	—	—	5,684
2. 資本剰余金	7,354	7,354	0	0.0	7,354
3. 利益剰余金	50,476	58,918	8,442	16.7	52,040
4. 自己株式	△2,273	△2,285	△12	0.5	△2,275
株主資本合計	61,241	69,672	8,430	13.8	62,804
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券 評価差額金	9,389	16,349	6,959		10,510
2. 為替換算調整勘定	292	412	120		439
評価・換算差額等合計	9,681	16,761	7,080	73.1	10,949
III 少数株主持分	3	3	0	13.2	3
純資産合計	70,926	86,437	15,511	21.9	73,757
負債、純資産合計	122,619	141,617	18,998	15.5	126,762

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	65,966	73,642	7,676	11.6	88,735
II 売上原価	45,947	52,574	6,627	14.4	63,202
売上総利益	20,018	21,067	1,048	5.2	25,533
III 販売費及び一般管理費	7,608	8,668	1,059	13.9	10,243
営業利益	12,410	12,399	△10	△0.1	15,289
IV 営業外収益					
1. 受取利息	128	193	65		201
2. 受取配当金	265	371	106		247
3. 為替差益	288	140	△147		440
4. その他	228	342	114		523
営業外収益合計	910	1,049	138	15.2	1,413
V 営業外費用					
1. 支払利息	110	130	19		156
2. その他	197	135	△61		232
営業外費用合計	308	266	△42	△13.8	389
経常利益	13,012	13,182	169	1.3	16,313
VI 特別利益					
1. 固定資産売却益	55	198	143		55
2. 貸倒引当金戻入益	3	1,515	1,511		858
3. 役員退職慰労引当金 戻入益	—	24	24		—
特別利益合計	58	1,739	1,680	—	914
VII 特別損失					
1. 固定資産除売却損	66	107	41		85
2. その他	—	10	10		—
特別損失合計	66	117	51	77.4	85
税金等調整前 四半期(当期)純利益	13,004	14,803	1,798	13.8	17,142
法人税、住民税及び 事業税	5,145	4,917	△227		6,816
法人税等調整額	△79	1,148	1,227		821
計	5,065	6,066	1,000	19.7	7,638
少数株主利益	0	0	0	24.7	0
四半期(当期)純利益	7,938	8,737	798	10.1	9,503

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	13,004	14,803	17,142
減価償却費	2,174	3,493	3,197
のれん償却額	27	—	27
賞与引当金の増減額(減少:△)	△616	△641	△78
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	67	△22	90
退職給付引当金の増減額(減少:△)	176	111	58
貸倒引当金の増減額(減少:△)	249	△1,517	△785
受取利息及び受取配当金	△393	△565	△448
支払利息	110	130	156
為替差損益(差益:△)	△96	△22	△96
固定資産売却益	△55	△192	△55
固定資産除売却損	66	100	85
投資有価証券評価損	131	110	164
投資有価証券売却益	—	△150	△242
役員賞与の支払額	△90	—	△90
売上債権の増減額(増加:△)	△1,035	△1,405	△1,185
たな卸資産の増減額(増加:△)	△3,906	△2,082	△3,262
仕入債務の増減額(減少:△)	1,149	174	1,333
その他	△949	418	△717
小計	10,015	12,741	15,291
利息及び配当金の受取額	432	590	514
利息の支払額	△87	△106	△156
法人税等の支払額	△7,902	△6,168	△8,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,457	7,056	7,589
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
現金同等物に含まれない 預金からの収入	271	—	2,038
現金同等物に含まれない 預金等への支出	△16	△29	△1,773
有価証券の売却及び償還による収入	1,300	3,806	—
有形固定資産等の取得による支出	△7,320	△7,920	△10,428
有形固定資産等の売却による収入	137	295	93
投資有価証券の取得による支出	△680	△112	△682
投資有価証券の売却による収入	236	1,150	2,003
貸付金の実行による支出	△21	△89	△24
貸付金の回収による収入	46	683	80
その他	△124	△527	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,171	△2,743	△8,884
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:△)	675	△437	992
長期借入による収入	350	1,002	100
長期借入金の返済による支出	△358	△180	△180
自己株式の取得及び売却による収支	△31	△9	△33
配当金の支払額	△950	△1,857	△1,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313	△1,482	△806
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	145	△24	228
V 現金及び現金同等物の増減額	△3,882	2,805	△1,872
VI 現金及び現金同等物の期首残高	15,362	13,489	15,362
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	11,480	16,295	13,489